

F-16 卒論テーマよりみられる卒論指導理念
熊本女大家政 大坂巳年子

目的 卒業論文指導の参考とするために、次の方法によって卒業論文の指導理念をみることにした。

方法 野口サキ教授が熊本女子大学在職中、すなわち昭和28年より昭和46年までの19年間に、熊本女子大学家族問題研究室で指導した卒業論文を、年度別・テーマ別に分類して整理した。

結果 教授は卒業論文で家族特に家族の構成および家族の機能を実態調査や文献資料で把握させることに力を注いでいたことがうかがえた。これはおそらく教授が家政学原論の講義内容の裏付けを企図していたものと考えられ、筆者の今後の卒業論文指導に非常に参考となった。